

## ジャンボスズキ 「愛の風景」



百まで生きる / 2011 / 116x71cm / キャンバス・油彩

会期：2011年11月3日(木) - 20日(日) 12:00 - 20:00

オープニングレセプション：11月3日(木) 17:00-20:00

トークショー：11月3日(木) 17:00-18:00 ジャンボスズキ x 千葉正也(アーティスト)

\*ジャンボスズキ作品のルーツを求め、新潟へ二人旅をしました。

会場：XYZ collective (SNOW Contemporary) /東京都世田谷区弦巻 2-30-20 1F

## ■ ジャンボスズキ「愛の風景」

---

SNOW Contemporary では 11 月 3 日（木）から 20 日（日）まで、ジャンボスズキの個展「愛の風景」を開催いたします。

1980 年生まれのジャンボスズキは、2007 年名古屋造形大学美術学科卒業後、2008 年「VOCA 展」（上野の森美術館）、2010 年「TDW-ART ジャラパゴス展」（Tokyo Designers Week / 明治神宮外苑絵画館前）、2011 年「Art in an Office」（豊田市美術館）等数々のグループ展に出品し、着実に力をつけてきた若手ペインターです。

ジャンボスズキの作品は、容易には読み取る事が出来ない不可思議さに満ちています。

祝い事、ご馳走、棺など冠婚葬祭に関わる一連の流れを題材として扱うことの多いジャンボスズキですが、実際の作品をみると、一枚のキャンバスの中に、樹木と木棺、レンガトンネル、あるいはタイル貼りの風呂釜がそれぞれほぼ同じ大きさで一緒に描かれていたり、燃えさかる瓦屋根の飼育小屋の上に巨大なリーゼントが覆いかぶさっていたりと、物質的・空間的・時間的に何ら関係性を持たない「モノ」たちが共存しています。単色で塗られた色彩を背景に、不可思議なモノがあちこちに配置されている上、そのモノの中にはそれぞれに質感の異なる「何か」が描きこまれているのです。しかもそのほとんどにおいて、形状はあるべき質感を備えていません。我々が認知する「物質」の概念を裏切り微妙にずれて成立しているが故に感じる形状と質感の組み合わせの奇妙さ・唐突さは、観る者に感覚的な居心地の悪さを引き起こします。また、なぜそれらが同一画面上に描かれているのかを理解するのに必要なヒントとなる媒介物が存在していないので、鑑賞者は自然に、ジャンボスズキの絵を読み解こうと自身の創造力や感性、記憶を呼び覚ますことになるのです。

ジャンボスズキは自身の制作プロセスについて、こう語っています。「小学生の頃、漢字ドリルが大嫌いでした。お手本をなぞって繰り返すのが苦痛でした。予備校生の頃、静物デッサンが苦手でした。形が取れず失敗ばかりしていました。どうやら、目の前に正解をおかれると、どうしても手が出しづらいのだと思います。今もそれは変わらないのですが、頭の中に正解を置いてしまうと、一転して描くのが楽しくなります。曖昧な記憶を元に想像した物は、刻々と変化していき、忠実に再現しようとする程、絵が思わぬ方向に進んで行くからです」。ジャンボスズキは、あくまで自由に自らの記憶と創造力、感覚をたよりに、ひたすら自身の頭に浮かぶそのイメージをたどり、時にはイメージ同士を連想させながら、彼独自の世界を創りあげているのです。

このたびの個展では、大作 3 点を中心に合計約 8 点の油彩画を発表し、ジャンボスズキの「愛の風景」をご覧いただけます。ジャンボスズキの風景は実際の風景を描いているものではありません。それは彼が日常におけるイメージの記憶をたどりながら、キャンバス上に再構成した風景なのです。ジャンボスズキがキャンバスという平面世界に表出させる異世界は、制作に対して真に自由なジャンボスズキだけが表現しうる「愛の風景」であり、絵画ならではの世界の見え方や広がりの可能性を感じさせ、絵画の豊かさと愉悦を存分に体感させてくれるものでもあります。この度の個展でみせるジャンボスズキの「愛の風景」を、どうか実際にご覧になって楽しんでいただければ幸いです。

## ■ジャンボズキ 略歴

---

1980年 東京都に生まれ

2007年 名古屋造形大学美術学科卒業

### ◇個展

2011年 - 「Mille Lacs Lake」 LOOP HOLE(東京)

### ◇主なグループ展

2011年 - 「ジャンボズキx長谷川繁」 See Saw gallery + cafe(愛知)

- 「Art in an Office -印象派・近代日本画から現代絵画まで」 豊田市美術館(愛知)

2010年 - 「TDW-ART ジャラパゴス展」 明治神宮外苑絵画館前(東京)

- 「LOVE CALL」 KICHIO GARAGE(神奈川)

- 「千代かイワン」 現代HEIGHTS Gallery Den&ST(東京)

- 「シヨコラ・デル・トル・フチュウ」 LOOP HOLE(東京)

- 「node vol.1」 東京造形大学内 学生運営gallery node(東京)

2009年 - 「名古屋造形同窓会40周年記念展」 名古屋市民ギャラリー矢田(愛知)

- 「echo」 文房堂ギャラリー(東京)

- 「アテンプト2/ Attempt」 カスヤの森現代美術館(神奈川)

2008年 - 「DRAWING」 TIME&STYLE MIDTOWN(東京)

- 「VOCA 展2008」 上野の森美術館(東京)

- 「生まれつつある現在 2008 -5人の作家による-」 文房堂ギャラリー(東京)

- 「ARTman」 豊田市美術館(愛知)

- 「THE NEXT」 Gallery Stump Kamakura(神奈川)

- 「99人展」 名古屋市民ギャラリー矢田(愛知)

2007年 - 「アウトレンジ 2007」 文房堂ギャラリー(東京)

2005年 - 「百花繚乱」 BOICE PLANNING(神奈川)

### ◇その他

2010年 - アート天国 「虎の巻」 2010(東京)

2008年 - 横浜アート&ホームコレクション(神奈川)

■ お問い合わせ 本展の広報にご協力賜りたくお願い申し上げます。

---

## **SNOW Contemporary**

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-30-20 1F

tel : 050-1148-7964

fax : 090-1303-8983

mail : snow@officekubota.com

hp : <http://officekubota.com/snowcontemporary>

アクセス : \*電車 東急田園都市線・駒沢大学駅(西口)から徒歩15分。

\*バス JR渋谷駅から東急バス「渋05」で「向天神橋」停留所下車(約30分)。徒歩30秒。

担当 : 石水 美冬 (いしみず みふゆ)